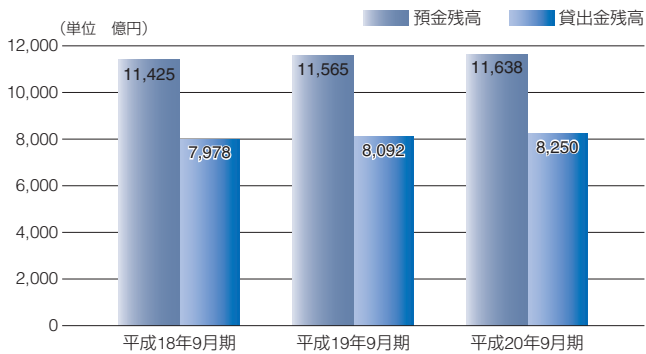


平成20年度中間決算ダイジェスト（単体）

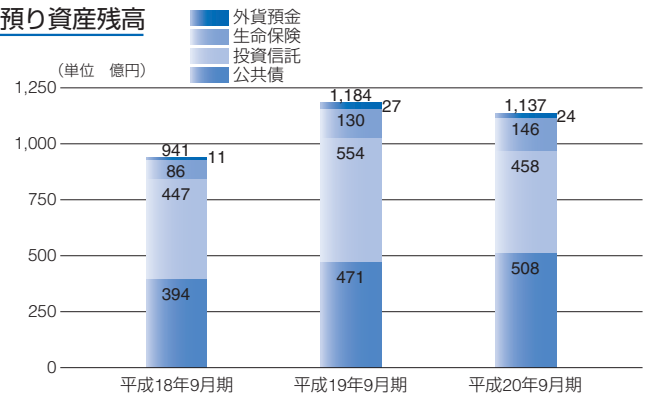
預金・貸出金残高



預金残高は、個人預金等の増加により前年同期比73億円増加し、1兆1,638億円となりました。

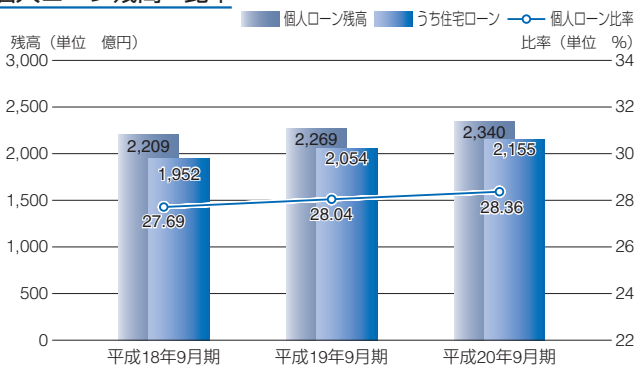
貸出金残高は、個人のお取引先や地方公共団体等向けの貸出が増加したことにより前年同期比158億円増加し、8,250億円となりました。

預り資産残高



預り資産残高は、金融市場の混乱の影響で投資信託の基準価額が減少したことなどにより前年同期比47億円減少し、1,137億円となりました。

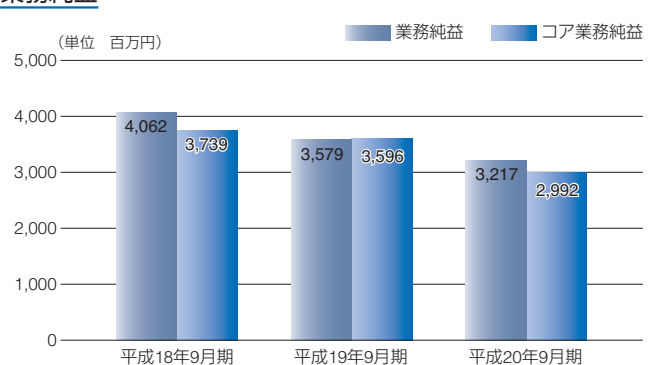
個人ローン残高・比率



個人ローン残高は、住宅資金ニーズに積極的にお応えし、前年同期比71億円増加の2,340億円となりました。

貸出金残高全体に占める個人ローン残高の割合は、28.36%です。

業務純益



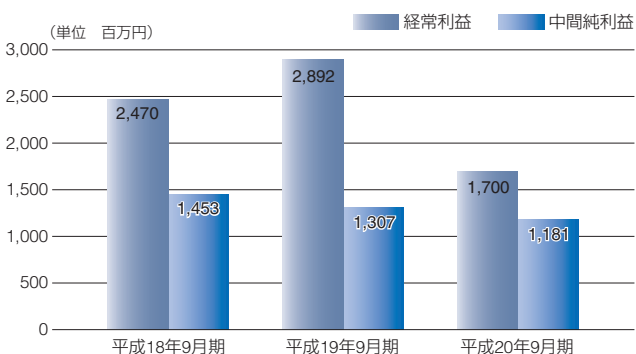
業務純益は、金融市場の混乱の影響などを受けたものの、前年同期比3億62百万円の減少に留まり、32億17百万円となりました。

コア業務純益は、前年同期比6億4百万円減少しました。

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券損益}$$

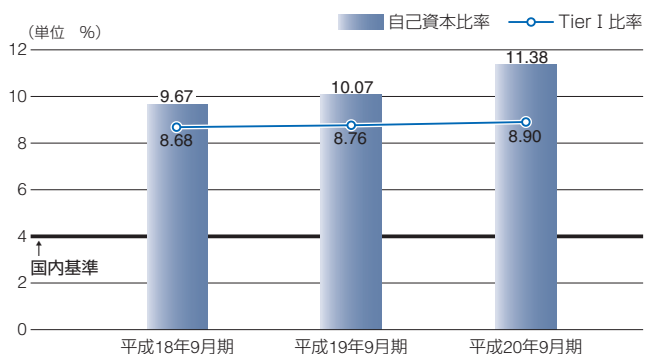
経常利益・中間純利益



経常利益は、業務純益の減少のほか、景況悪化による不良債権処理費用の増加等により11億92百万円減少し、17億円となりました。

中間純利益は、経常利益の減少により1億26百万円減少し、11億81百万円となりました。

自己資本比率・Tier I 比率



自己資本比率は、前年同期比1.31%上昇の11.38%となり、高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算したTier I 比率は8.90%であり、良好な水準を維持しております。